

平成19年度にご応募いただいたアイデア

【屋上菜園エコライフ】(千田在住 中瀬さん)

生ごみを家庭用生ごみ処理機で土と肥料にかえて、自宅屋上でプランターによる野菜栽培をしています。

プランターなので、マンションのベランダでも可能です。雨水活用で、暑い7月と8月以外は水道水をほとんど利用することがありません。

<ねらい>

江東区の(家庭ごみの)4割は生ごみですが、その生ごみは、ここ7年間我が家では、生ごみは「ごみ」として出していません。すべて土や肥料になっています。

ごみ処理には費用がかかります。家庭ミニ菜園で少しでもごみ処理にかかる区の歳出を減らし、楽しく、安全安心な自家野菜を楽しんでみてはいかがでしょうか。

【古ストッキングの活用】(東雲在住 土橋さん)

はけなくなったストッキングを排水溝ネットなどの代わりに使います。

<ねらい>

ゴミに至るまでを遅らせるストッキングの活用

<作り方>

ストッキングを「おなかの部分と脚の部分に切ります。さらに、脚の部分を片方を3等分(両方で6つ)に切って、切り口の片方を結びます。

脚の部分は、「排水溝用生ごみネット」として活用できます。

おなかの部分は三つ折にして小さく丸めて「靴磨き」にします。

<他にもこんな使い道>

風呂場の排水溝用のネットやOA、テレビなどのほこり取りに使えます。また、フローリングワイパーにもはかせられます。

【段ボールコンポスト】(毛利在住 山田さん)

身近にあるもので、生ごみのコンポストを作ることができます。

<用意するもの>

段ボール/ピートモス(市販の園芸用土)15リットル/もみがらくん炭 10リットル/台/布/スコップ/温度計

<作り方>

- (1)ダンボール箱2重底にして、ピートモス、もみがらくん炭を混ぜます。
- (2)雨の掛からない日当たりの良い場所で、(1)を台の上に置きます。
- (3)その中に、生ごみを入れ、よくかき混ぜます。
- (4)ダンボールの上に虫除けの布をかぶせます。

使った後の天婦羅油、米のとぎ汁を少量入れると分解が進みます。
堆肥として利用が出来ます。

ダンボールコンポストについて、全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)スト
ップおんだん館で紹介しています。

【古着の利用で紙の使用を減らそう】(亀戸在住 坂井さん)

古くなった衣類はそのままの状態ですべてに再利用してから・・・

衣類・寝具類が古くなったら 10cm~20cm四方に切って、取っておき、台所の油汚れを
ふき取ったり、トイレや洗面所などのちょっとした汚れをふき取ったりしてから捨てます。

<ねらい>

紙の使用量を減らします。

安価に手に入る紙(トイレトペーパーやキッチンタオル)を何気なくたくさん使って捨てる
のが当たり前になった今、紙などの資源を大切に作る心が、ごみダイエットにつながると思
います。

また、油汚れの皿やフライパンなどを拭いてから捨てることにより、下水道の汚れを抑え
ることにもなり、一石二鳥です。

【資源の分別の徹底して、ごみを減らす】(亀戸在住 清水さん)

可燃ごみの中に、投げ込みチラシや、紙箱などの紙が大量に入っています。このような紙類も資源として分別排出して、可燃ごみの排出量を減らします。

<ねらい>

日本は古紙の回収率は高いことになっていますが、回収されているのは、新聞・雑誌・段ボール・牛乳パックおよびオフィスでのOA紙に限られ、それ以外の紙は回収されずに可燃ごみになっているものもあります。

一般家庭においても、OA紙や郵便受けの投げ込みチラシやダイレクトメール、食品の包装用ボール紙などを分別して資源として出せるようにすれば、その分焼却ごみは減ると思います。

(清掃リサイクル課より)江東区では、これらの雑がみは、「雑誌」として資源回収していますので、正しい資源とごみの分け方・出し方にご協力ください。

【紙の裏面利用で封筒づくり】(大島在住 天利さん)

廃コピー用紙や廃FAX用紙の裏面を使って、封筒やFAX送信票を作ります。

<作り方>

- (1) B4の廃コピー紙を端から240mmのところまで切ります。
短く残ったほうも、2枚貼り合わせて使います。
- (2)真ん中もしくは端で糊付けします。
- (3)筒状にして、上・下の内側を切り取ります。
(上は封筒のベロ部分、下は封筒の折り返し部分)
- (4)底を貼り付けて、できあがり。

<ねらい>

紙の再使用と経費を削減できます。

指先を使う作業は、脳トレーニングになります。

